

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	神学部
大項目	5 学生の受け入れ
中項目	
小項目	5.0.1 学生の受け入れ方針を明示しているか。
要素	求める学生像の明示 当該課程に入学するにあたり、修得しておくべき知識等の内容・水準の明示 障がいのある学生の受け入れ方針
小項目	5.0.2 学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。
要素	学生募集方法、入学者選抜方法の適切性 入学者選抜において透明性を確保するための措置の適切性
小項目	5.0.3 適切な定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。
要素	収容定員に対する在籍学生数比率の適切性 定員に対する在籍学生数の過剰・未充足に関する対応
小項目	5.0.4 学生募集および入学者選抜は、学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 神学部の理念・目的の中で表されていたアドミッション・ポリシーを明文化する。	→アドミッション・ポリシーの明文化(2012年度入試実施までに)	C	B	A		
2. アドミッション・ポリシーに基づいて、個別入試制度(一般、AO、推薦入学など)で募集する入学者像を明確にする。	→個別入試制度で期待する入学者像の明示(2012年度入試実施までに)	C	C	C		
3. アドミッション・ポリシーに照らして入学者選抜を検証する制度を構築する。	→既存の入試検討委員会(学部)における検証および教授会に対する報告書の作成(2012年度入試より)	C	C	C		
4. ことにAO入試においては、2004年度(2003年度実施)の入試制度導入から10年を迎える2013年度に向けて、これまでの検証とその選抜方法の再考を行う。	→AO入試実行小委員会および既存の入試検討委員会における検証および教授会に対する報告書の作成(2013年度までに)	C	C	C		
5. 学内ジョイント・ディグリー制度を利用した4年次編入学生の受け入れを実施する。	→神学部内規の改正施行および関連規定の整備状況(2013年度までに)	C	B	B		
6. 入学前教育のさらなる充実を図る。	→入学前教育の実施状況および入試検討委員会(学部)での恒常的な検証体制の整備状況(2011年度入試より)	C	B	B		
				☆		
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	アドミッション・ポリシーについては、すでにWEBサイト等で明示されている（2011年度）。
目標2	個別入試制度（一般入試、AO入試、各種推薦入学など）において、それぞれの趣旨・ポリシーは募集要項に明示しているが、目標1で設定・公開した全体のアドミッション・ポリシーとの関連性について、わかりやすい明示には至っていない。個別入試制度の入学者像においてはそれぞれの募集人員も考慮し、バランスを考えつつ慎重に検討中である。
目標3	アドミッション・ポリシーの明示はなされたが、いまだ入学者選抜を検証する制度の構築を検討するに至っていない。まずは目標2の進捗を目指す。
☆ 目標4	未だ進捗状況に変化はないが、2012年度にこれまでの検証とその選抜方法の再考を本格的に行う予定である（2014年度入試を目指して）。
目標5	学則改正（2010年度）と時期を同じくして、MDSの履修体系についても他学部生の受け入れを見据えた改正を行った（履修科目の追加、履修基準年度の緩和）。ジョイント・ディグリーによる編入学生の受け入れについては、2014年度から受け入れを開始する旨、すでに全学的に周知している（各学部「履修心得」に掲載）。
目標6	スポーツ選抜入試入学予定者について「英語」「国語」の2科目を全学的枠組みで実施している（2012年度より）。また、他の各種入試による入学予定者には「英語」「読書」の課題とともに、それを踏まえたスクーリング形式のプレスチューデント・プログラムを実施するなど（2011年度より）、内容はさらに充実している。しかしながら、恒常的な検証体制の完備には未だ至っていない。
備考	

《評価指標データ》

（特定項目データ）本項目は数量的なデータによる評価（現状分析）が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【神学部】		単位	2008	2009	2010	2011	2012	備考
指標1	入学定員	名	30	30	30	30	30	
指標2	志願者総数	人	367	209	348	206	201	
指標3	合格者数	名	73	67	62	81	78	
指標4	入学者数	名	30	36	25	27	35	
指標5	志願者倍率	倍	12.2	7.0	11.6	6.9	6.7	志願者÷入学定員
指標6	入学定員に対する入学者数比率(5年間平均)	倍	1.03	1.06	1.03	1.01	1.02	入学者数÷入学定員 (小数点第二位以下切捨)
指標7	入学者に占める一般入試入学者の比率	%	56.7%	72.2%	56.0%	63.0%	71.4%	一般入試入学者数÷入学者数 (注)一般入試にセンター入試を含む
指標8	収容定員	名	120	120	120	120	120	
指標9	在籍学生数	名	131	140	136	132	133	
指標10	収容定員に対する在籍学生数比率	%	109.2%	116.7%	113.3%	110.0%	110.8%	在籍学生数÷収容定員
指標11	編入学生数	名	(4)	(5)	(6)	(6)	(5)	編入学定員がない学部でも、編入学生がいれば記入する。※その場合は()で記入
指標12	編入学定員	名	—	—	—	—	—	
指標13	編入学定員に対する編入学生数比率	%	—	—	—	—	—	
指標14	学部・学科ごとの退学者数	名	5	2	2			

※指標11…編入学定員を持たない学部の編入学生数は()で記入